

平成23年度「生命環境化学グローバル教育研究拠点」 若手研究者による海外研究発表・交流に対する補助金の募集要項

趣旨

本プログラムは、優秀な若手研究者の海外での研究成果の発表と研究交流を支援するためのものであり、それによって若手研究者が自立した国際的な研究者としての能力を高めつつ、生命環境化学の発展と国際的ネットワーク作りに寄与することを目的とする。

応募資格

1. 大阪大学大学院理学研究科、基礎工学研究科、工学研究科および各研究科に関連する研究所やセンター等に所属する40歳以下の、准教授、専任講師または助教で、生命環境化学の研究に従事する者。外部資金雇用のポストドク、特任助教、講師、准教授は不可とする。
2. 同一年度内にこの補助金を受けていない者。
なお、募集は拠点形成期間内の年度毎に行う。

給付金額と採用人数

給付金額の上限は50万円程度とする。また、採用人数は2～3名程度を予定している。

受給者の義務

受給者は、海外で開催される国際会議において口頭発表またはポスター発表を行い、なおかつ生命環境化学関連の研究を行っている研究機関の複数の研究者を訪問して複数回のセミナー発表（group seminar よりもdepartment seminar が望ましい）を行うとともに、研究交流を通して生命環境化学国際ネットワーク作りに貢献しなければならない。ただし、出張期間の過半が本学の休業期間と重なっておらず、その間に本学において担当する授業・実験・演習等がある応募者については、1研究機関でのセミナー（department seminarが望ましい）と研究交流であっても申請を受理する。

国際会議およびセミナーでの発表に際しては、大阪大学グローバルCOE「生命環境化学グローバル教育研究拠点」に支援された発表であることを謝辞に入れなければならない。

帰国後1ヶ月以内に、当該派遣の成果報告書（学会参加により得た知見、交流実績、発表に対する質疑応答、訪問先での講演後の質疑応答、研究交流の具体的な内容に絞ったもの）を、訪問先での講演の告示（フライヤーまたはホームページ）の写しとともに、拠点代表者に提出しなければならない。

また、当該年度に限らず、拠点主催の研究発表会・国際会議が開催される場合には、口頭あるいはポスターにて成果を発表しなければならない。

なお、選考においては口頭発表を行う申請者を優先する。

補助金の使途

補助金は、申請課題の研究発表・交流に使用する旅費、参加登録費に限る。その使用手続きは別に定める。

応募要領

以下の事項を英文で記載した書類を拠点代表者に提出すること。申請書の書式は特に定めない。

1. 所属・氏名・生年月日(年齢)・学歴・職歴（この部分のみ日本語でよい）
2. 研究課題名
3. これまでの研究成果
現在までの研究とその成果、特に生命環境化学に寄与する成果に重点を置き、A4判1枚程度にまとめる。
4. 参加予定の国際会議の概要（名称、日時、場所、登録費）とサーキュラー（あるいは当該国際会議の開催概要の記載されたホームページの写し）
5. 発表のアブストラクト（または、発表予定の概要A4判1枚程度）
6. 国際会議ならびに訪問する研究機関の受入教員・研究者からの招聘状（セミナー開催とその種類<グループ内か専攻内か>および題目が記載されていること）
7. 研究業績
 - (1) 発表した審査つき学術論文の論文題目を含むリスト。掲載が決定されたものも含む（掲載を証明する書類を添付すること）。
 - (2) 総説等があればそのリスト（論文題目を含む）

上記、1～7までの事項を申請書として1つのPDF（ファイル名：若手申請書_申請者の氏名）としてメールに添付し、メール題目を「若手申請書_申請者の氏名」とし、本文には1. 申請者の氏名、2. 研究科・専攻・研究室名、3. 研究課題、4. 学内電子メールアドレスのみを記入のうえ、下記アドレスに送信する。

提出先： 大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻内
グローバルCOE プログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」事務局 宛て
gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp

申請期限

特に定めない（随時受け付ける）。

なお、本改訂による運用は平成21年6月1日から実施する。